

聖書箇所:ヨハネ4章1~6節  
『キリストの愛』

【1】 イエス、再びガリラヤへ

- ・「愛の反対は憎しみではない。無関心である」(マザーテレサ)
- ・ヨハネからイエスへ
  - 「あの方は盛んになり、私は衰えなければなりません」(ヨハネ3:30)
  - ヨハネの役割：主の道をまっすぐにせよと荒野で叫ぶ者の声(1:23)
- ・イエス、エルサレムからガリラヤへ
  - ヨハネの弟子たちとの緊張関係
  - 敵対心を増長させることを願わなかったイエスはガリラヤへ

【2】 サマリアを通過して行かなければ

- ・エルサレムからガリラヤへの最短ルートはサマリア経由
  - 通常ユダヤ人はサマリアを避けヨルダン川溪谷沿いの険しい道を選択
- ・イエスは「サマリアを通過して行かなければならなかった」(ヨハネ4:4)
  - 義務感でなく必然、「論理的必然」の結果 (M.C.ティ)

【3】 キリストの愛

- ・慣例を破るイエスの言動
  - ① 「あなたはユダヤ人なのに…」
    - ユダヤ人とサマリア人の400年以上に渡る敵対関係
  - ② 「サマリアの女の私に…」
    - 「傷つけられて、血を流すパリサイ人」：厳格なラビの振る舞い
- ・イエスの言動の原理
  - 失われた者を捜して救い出す神の愛(ヨハネ6:39)
  - 一人のサマリア人女性を通してサマリアの人々の救いを願った
- ・風をとらえて沖に出よう!
  - 主のみことばへの応答：時に自分の計画にはない道や好みを超える

▷新しい年が始まりました。心に吹き込む「新しい風」。それに抵抗するのではなく、しっかりと風をとらえて、岸を離れ、沖に出ることができますように。

